



2026年3月25日

各位

会社名 株式会社 WOLVES HAND  
代表者名 代表取締役 CEO 兼 COO 北井 正志  
(コード: 194A、東証グロース市場)  
問合せ先 執行役員 CFO 田中 哲生  
(TEL. 06-6599-9106)

## (開示事項の経過) 株式会社ダイナコムとの共同研究の進捗及び契約の更新のお知らせ

当社は、2025年11月27日の適時開示において、株式会社ダイナコム（本社：千葉市美浜区、代表取締役：三浦順一郎、以下 ダイナコム）とダイナコムの保有する医療データの解析技術や知見と、当社が保有する獣医療の臨床 DB を活用し、ペットの健康的な生活の実現に向けてヘルスケア・医療データの利活用を進めるべく、共同研究契約を締結したことをお知らせしておりました。

本研究はダイナコムの高度な知見と創発的協力のもと順調に進行しており、当社の電子カルテ由来のデータの現状分析、次世代電子カルテシステムのクラウド化の発展的課題抽出、および、臨床支援 AI の導入プロセスの情報工学的な基礎研究方針の立案が概ね完了し、2026年4月より本研究の成果を踏まえた具体的な要件定義の研究作業が開始することとなり、このたび共同研究契約の更新を行いましたので改めてお知らせします。

### 1. 本共同研究契約更新の理由及び内容

獣医療の臨床 DB の高度化及び臨床医療の最適化の為、2025年11月27日共同研究契約を締結いたしました。

がん・心疾患・腎臓疾患リスクの予測や治療効果分析サービスの提供、獣医療の現場支援の AI 導入など、獣医療 DB の高度利用のビジネス開発をダイナコムと共同で目指しております。

ダイナコムは、バイオインフォマティクス専門企業としてデータ解析とシステム開発を行っています。特にゲノム解析やヒトの医療分野において数多くの実績を積み重ねており、先進的な技術と豊富な経験を活かし、医療現場のニーズに応じたソリューションを提供しています。

本研究の進捗の結果、当社の獣医療 DB をもとにした高度解析の可能性についてダイナコムの検証結果が行われ、また、臨床支援 AI の導入プロセスの情報工学的な今後の設計思想について具体的なプロセスの研究が進展したことをうけ、2026年4月から臨床現場のスタッフをチームに入れた具体的な要件定義の工程に進むことを決定し、共同研究契約内容の更新契約を締結いたしました。

なお、本研究の結果、クラウド化する電子カルテシステムについては、カルテ情報等に含まれる各種テキスト、画像データなどの重要な情報に対する万全のセキュリティー対策を構築する必要性があり、さらに今後の量子コンピューティングの出現による既存暗号化技術の無効化リスクに対応する最新の暗号化技術を検討することが必須と判断し、本研究にて追加課題事項に加えております。



## 2. 共同研究の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社ダイナコム	
(2) 所 在 地	千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 マリブイースト25階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 三浦 順一郎	
(4) 事 業 内 容	バイオインフォマティクス(*1)・健康医療関連支援・研究支援	
(5) 資 本 金	70 百万円	
(6) 設 立 年 月	1995 年 1 月	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	記載すべき事項はございません。
	人 的 関 係	記載すべき事項はございません。
	取 引 関 係	記載すべき事項はございません。

※「大株主及び持株比率」、「当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態」については、相手先の意向を踏まえ、開示を差し控させていただきます。

(\*1): バイオインフォマティクスとは、生命科学で得られる膨大なデータを、コンピューターや統計学、AI を用いて解析し、生命現象の理解・医療や研究への応用につなげる学問・技術分野です。

ダイナコムは、バイオインフォマティクス専門企業としてデータ解析とシステム開発を行っています。特にゲノム解析やヒトの医療分野において数多くの実績を積み重ねており、先進的な技術と豊富な経験を活かし、医療現場のニーズに応じたソリューションを提供しています。

### <ゲノム解析の実績>

- ・高度な解析技術: 次世代シーケンシング (NGS) データの解析において、独自のアルゴリズムを開発し、迅速かつ高精度な解析を実現しています。
- ・研究機関との連携: 国内外の大学や研究機関と協力し、ゲノム解析プロジェクトを推進しております。これにより、新たな疾病リスクの発見や個別化医療の実現に貢献しています。

### <ヒトの医療分野でのデータ解析>

- ・患者データの解析: 大規模な患者データを活用し、疾患の予測や治療効果の分析を行っています。より効果的な治療法の提案が可能となります。
- ・医療システムの開発: 医療機関向けのデータ管理システムや診断支援ツールの開発を手掛け、医療従事者の負担軽減と診断精度の向上を実現しています。

## 3. 更新契約にかかる日程

(1) 経営会議決定日	2026年3月25日
(2) 契約締結日	2026年3月25日
(3) 研究開発開始日	2026年3月25日
(4) 契約期間	2026年8月31日まで

## 4. 今後の見通し

本件による当社業績への影響は軽微ではありますが、本研究の知見は中長期的な企業価値に大きく貢献するものと考えております。今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。